



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第3号
令和3年12月13日

11月22日(月)に、第3回学校運営協議会を開催しました。委員10名が出席し、前期の学校運営等について協議しました。

□ 前期の学校運営について【協議】

今年6月に実施した学校評価(保護者対象)と、オープンスクール保護者アンケートをふまえて、校長より説明がありました。また、授業を参観し、今後の学校運営について協議しました。

<校長より>

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、行事等の制約がある中でのスタートとなった。「学びを止めない」を学校の目標として、コロナ対策と学校生活を両立している。今年度は体育祭や体験講座など、中学校生活の思い出作りとともに、生徒の成長を見ることができると実施することができた。しかし、修学旅行や職場体験学習の中止、合唱コンクールの未実施など、生徒が楽しみにしていた行事に影響が出ている。

9月には生徒に一人1台ずつタブレットを配付した。ICT機器に慣れていないこともあり、取扱い方等に課題はあるが、授業で有効に活用するために、教職員が研修を行っている。

学校評価では、昨年度よりも高い評価の項目が多くなった。学校から発信する情報が少しずつ伝わっているように思う。しかし、市川市全体に比べると、まだ改善すべき部分がある。今後も努力をしていきたい。

<委員からの主な意見>

- タブレットを使って課題の提出を行い、クラスの生徒全員で共有している授業もあると聞いた。9月に使用を始めたばかりだが、十分に活用しているのがわかった。
- ICT機器を活用することは、今後の世界では「普通」になってくる。双方向の活用をこれから発展させていってほしい。また、大人になってから必要な「他の人に説明する力」などもつけさせてほしい。
- 大型提示装置のタッチパネルを利用し、画面に書き込みをするなど、工夫が見られる。
- 教科書、ノート、副教材、タブレットと、持ち物が多く、重いだろうと心配している。机の上も狭い。
- タブレットを活用すると、生徒の理解度がリアルタイムで確認できる。
- 従来のノートを利用することも継続してほしい。廊下の掲示物がすばらしいのは、書くことを大切にしてきた成果だと思う。

□ 教職員の任用に関する意見について【協議】

校長から次年度の学校運営について説明があり、その後、学校運営協議会として第四中学校に求める教職員について協議しました。この内容をまとめ「教職員の任用に関する意見書」を市川市に提出します。

<校長より>

わかる授業、生徒に寄り添う学校経営を今後も目指していく。授業では、学習内容の理解や活用ができる生徒を育成するのはもちろん、生徒指導もできる情熱を持った教職員で生徒を支援していきたい。市川市全体の傾向でもあるが、若年層を支える40代の教職員が少ない。多くの年代の教職員と触れ合うことで、生徒にも良い影響があるので、バランスの良い年齢構成にしていきたい。

<委員からの主な意見>

- 生徒に寄り添う姿勢を大切にしてほしい。生徒にとって魅力的な先生がよい。
- 授業に先生方の工夫が見られ、参観していて面白かった。授業力は大切だと思う。

□ 報告・意見交換

- コロナの影響もあり、コミュニティカレンダーに掲載している内容は変更になることもある。最新の情報を確認してほしい。(地域学校協働活動推進員より)